

令和7年度 第2回神戸市就学・教育支援委員会 次第

令和7年9月25日（木）15:30～
神戸市総合教育センター701号室

1. 開会

2. 内容

（1）特別支援教育相談センターの充実

（2）校内支援委員会「判断報告書」の検討

（3）その他

3. 事務連絡

※今後の開催日程

第3回以降の開催については、決定後、ホームページ上でお知らせします。

<配布資料>

資料1 特別支援教育相談センターの充実

資料2 校内支援委員会 判断報告一覧

特別支援教育相談センターの充実

今年度より、特別支援教育相談センターの面談体制を強化し、保護者の適切な就学先選択に向けた支援を行うとともに、新たに学校支援チームを立ち上げて、地域校における特別支援教育の充実を図っている。

1. 特別支援教育相談センター

特別支援教育に関する保護者や学校の一元的な相談窓口として、令和 4 年度より「特別支援教育相談センター」を開設している。

センターでは、学習や学校生活などに課題がある児童生徒に対する、家庭や学校での具体的な支援の提案・指導内容の助言（教育相談）や、入学時の相談・入学後の学びの場の変更についての相談（就学相談）を実施している。

2. 就学相談

今年度より、面談担当者を 2 名増員し、より多くの 5 歳児の就学相談に対応している。中学校進学に向けた個別の相談についても、拡充していく。

（1）「5 歳児の就学相談」の実施状況 ※各年度年 8 月末時点

	総合教育センター	療育センター	区会場	合計	年間件数
令和 7 年度	236	49	216	501	—
令和 6 年度	211	63	188	462	492

※療育センター：まるやま学園、のぼら学園、ひまわり学園

区会場：市内 5 区の文化センター等

（参考）「5 歳児の就学相談」の説明動画視聴回数（令和 7 年 3 月～8 月）視聴総数 1,895 回

①全体説明 656 回 ②通常の学級 450 回 ③特別支援学級 395 回 ④特別支援学校 208 回
⑤医療的ケア 73 回 ⑥聴覚障害 45 回 ⑦視覚障害 38 回 ⑧病弱 30 回

（2）「中学校進学に向けた個別の相談」の実施状況 8 月 1 日～10 月

- ・ 9 月 10 日時点での予約総数 66 件（うち 26 件実施） ※令和 6 年度：年間 91 件実施
- ・ 6 月 23 日「すぐーる」にて「中学校進学に向けた個別の相談について」の保護者案内
9 月 16 日「すぐーる」にて再案内

（参考）「中学校進学に向けた個別の相談」の説明動画視聴回数（令和 7 年 3 月～8 月）

視聴総数 965 回

①通常の学級編 565 回 ②特別支援学級編 264 回 ③特別支援学校編 136 回

3. 学校支援チーム

【目的】

学級集団の様子を参観して、特別支援教育の視点から、児童生徒の理解や学級運営での工夫等について教員に助言し、児童生徒や学級の困りが大きくなならないよう未然防止と地域校における特別支援教育の理解推進を図っている。

【方法】

経験が豊富な特別支援教育相談センターの職員が、複数名で地域校を訪問し、クラスの様子を見て、児童生徒の見立てと寄り添い方、教室環境整備において工夫できること、などを教員に伝えている。また、地域校の教員や拠点校通級指導教室の担当者を対象に、職員研修も実施している。

【活動実績】 ※令和7年8月末時点

(1) 地域校への訪問

①校数：46校（小学校21校、中学校12校、拠点校通級13校）

②回数：70回（小学校35回、中学校14回、拠点校通級21回）

(2) 職員研修

①学校訪問における職員向け研修及びケース検討 33校（49回）

②拠点校通級指導教室の初担当者を対象にした情緒障害、難聴・言語障害についての研修 5回

（参考）地域校訪問後のアンケート調査（26校）

設問	大変そうだ	まあまあそうだ	あまりそうでない	全くそうではない
生徒理解を深めることができた	24	2	0	0
関係職員等で共通理解ができた	21	5	0	0
学校全体で特別支援教育に関する理解が深まった（1校未回答）	14	11	0	0
今後も、学校訪問を活用したい	25	1	0	0